

**Q** 県道拡幅工事に伴う嵐南公民館の解体について、嵐南地区の公民館機能の今後と、住民への説明をどう考えるか。

**A** 高齡化への対応として、エレベーターが増設できない既存施設の廃止を進める一方で、民間の賃貸住宅を活用する住宅セーフティネット制度により、低層階居住の需要に対応するとともに、家賃の低廉化を図っていききたい。

**Q** 島田建替住宅を用途廃止するが、セーフティネットという観点から公営住宅の確保についてどう考えているか。

**A** これまで運賃の維持に努めてきたが、行政負担の増大に伴い改定を行った。乗り合いや高齡者向けの割引制度の活用を促すことにより、利用者の負担軽減を図っていききたい。

議第1号  
令和8年度三条市一般会計予算

市民福祉常任委員会 馬場博文委員長  
公共交通が抱える課題  
利用者の負担軽減を図っていく



付託された議案のうち、議第1号から第4号、議第17号、議第19号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

**Q** デマンド交通ひめさゆりの運賃について、1人乗車の場合の片道最大5000円という料金設定は非常に高額ではないか。

**A** 三條市公共施設再配置計画では、勤労青少年ホームへ複合化、集約化としているが、現在の公共施設も含め検討している。方向性がおおむね定まった段階で住民説明会を開催し、意見を聞きながら進めていきたい。

えているのか。

白鳥賢議員の質問

三条市食育の推進と農業の振興に関する条例の推進体制の再構築について

**Q** 三条市食育の推進と農業の振興に関する条例の認識はどうか。

**A** 市の健康づくり施策や農業振興施策を進めるに当たり、重要な指針と位置付けている。

**Q** 三条市食育推進及び農業振興審議会、また食と農の連携協議会との連携について現状認識はどうか。

**A** 審議会は、条例において施策の計画を定めるときの意見交換を想定。協議会は、運営サポートを行いつつ、協力して条例の理念実現に向けた取り組みを推進していくパートナー。

**Q** 三條市食育の推進と農業の振興に関する条例の認識はどうか。

**A** 審議会は、条例において施策の計画を定めるときの意見交換を想定。協議会は、運営サポートを行いつつ、協力して条例の理念実現に向けた取り組みを推進していくパートナー。

**A** デマンド交通については、複数乗車やおでかけパスの利用により負担を軽減する仕組みがあるので、周知活動を強化したい。

また、地域の特性や課題、財政状況を勘案し、全国の事例も参考に、将来にわたって安心、便利に利用できる公共交通網の構築に向けて検討を進めたい。

先端エネルギー研究拠点構想について

**Q** 太陽光、小水力発電を組み合わせた地域マイクログリッドの実現の可能性について所見を伺う。

**A** エネルギーの地産地消や防災力向上の観点から有意義な手法であると認識しているが、供給安定性や多額な初期投資、維持管理コストなど専門的な課題が多岐にわたる認識で、判断できる状況にない。



SGET三條バイオマス発電所の再評価を望む

**Q** 食育条例を持つ当市において、食と農の健康都市という新たな都市ブランド育成可能性への所見を伺う。

**A** 関係団体との連携を強化しつつ審議会でも議論を深め検討したい。★オーガニックビレッジ宣言は現在考えていない。

**Q** 社会資本包括的維持管理事業費について、昨年度と同額で予算計上されているが、資材などの高騰を考慮

**A** 下田郷開発を念頭に置きつつ、改めて運営事業者を選定する際には、適切に施設を運営できるか審査する必要がある、下田郷開発の経営改善の状況を注視したい。

**Q** 八十里越交流拠点エリア整備事業について、今後新たな運営事業者を選定することだが、株式会社下田郷開発が名乗り出てくることは間違いないのか。

**A** 熊については、捕獲者等の待遇改善と体制強化を図るほか、県主導の取り組みとして、春先に里山の熊の駆除を計画している。猿については、GPS首輪を付けて群れを把握し、追い払いや捕獲を進める。

議第1号  
令和8年度三条市一般会計予算

経済建設常任委員会 白鳥賢委員長  
里山の熊の駆除を計画



付託された議案のうち、議第1号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

**Q** 昨年は熊や猿の出没が多発し、子どもの通学等にも影響が出たが、新たな対策は考えているのか。

**A** 直近の物価変動などを参考にしながら、昨年度から5年間の契約を締結している。

して増額するべきではないか。

**Q** 現在の消防団員の処遇における課題をどう捉えているか。

**A** 報酬額を見直すとともに活動服などの装備を充実させ、これまでも処遇改善に努めているところであるが、仕事や家庭と消防団の両立が困難だと退団する団員もいることから、安心して活動できる環境づくりを行い、接種率の向上に努めている。

**Q** 子宮頸がんワクチンの定期接種を進めるため、どのような対策をしているのか。

**A** 新たに対象となる小学6年生には4月に案内を個別送付し、中学2年生には、15歳までに初回の接種を終えると2回の接種で済むことから、5月に接種勧奨のはがきを送付している。さらに、最終年となる高校1年生の未接種者には、8月に再度接種勧奨を行い、接種率の向上に努めている。

議第1号  
令和8年度三条市一般会計予算

CHECK!  
常任委員会  
審査レポート  
詳しく議案を審査します！

総務文教常任委員会 野崎久雄委員長  
子宮頸がんワクチン  
定期接種の接種率向上に努める



付託された議案のうち、議第1号、議第14号から議第16号、議第22号は賛成多数で、その他は全員異議なく原案の通り決定すべきものとした。

**Q** 返還免除の対象となる従事先の特定医療施設等の範囲を改める理由は何か。

**A** 高齡者人口の増加により、今後看護職員の重要性がより増していく。看護職員の確保が困難となる中で、長期的な人材の育成支援と確保を図る必要があることから、改正を行う。

議第23号  
三条市諸橋轍次博士奨学金条例の一部改正について

今後検討していく。